

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	再生紙マルチ栽培水稲300a
自家労働	1.0人
その他	①苗は農協から購入する ②堆肥運搬散布、耕耘、代かき、田植え、収穫(コンバイン)、乾燥調製作業等の主要な機械作業は委託する。③化学肥料および化学合成農薬は、使用しない ④販売は契約販売(20.5千円/60kgを想定) ⑤当該作目生産組織の(販売先と協議された)栽培基準指針に沿って栽培管理する ⑥品種はきぬむすめ ⑦軽トラックは農業以外に70%利用。

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次							◎	—————			□□□		

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F) × (G) × 利率
動力散布機	26 ^{リットル} 背負	1台	108,000	100	108,000	108,000	7	15,429	4	46,284	100	1,851
草刈機	22.5cc肩掛	1台	41,150	100	41,150	41,150	5	8,230	3	16,460	100	658
軽トラック	660cc 4WD	1台	1,050,000	33	346,500	346,500	4	86,625	2	173,250	100	6,930
合計			1,199,150		495,650	495,650		110,284		235,994		9,440

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
水稻 紙マルチ栽培	きぬむすめ	紙マルチ田植え	540kg	基盤整備済み (20～30a 区画)	300a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準		10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	機械利 用時間	組 員 人 員	延労働 時 間	
堆肥散布 (作業委託)	10/上～中	堆肥	2.0t	作業委託	○収穫後堆肥を散布 (耕畜連携)				
耕起 (秋) (作業委託)	10/上～中			作業委託	○浅耕し、土と堆肥を混和する				
耕起整地 (作業委託)	5/上～中			作業委託	○慣行どおり				
基肥散布	5/中	新つややか655	50kg	動力散布機 軽トラック	○動力散布機で均一に散布するが、 前年の倒伏状況等を考慮する		1	0.3	ガソリン 0.1 混合油 0.2
代かき (作業委託)	5/中～5/下			作業委託	○出来るだけ田面の均平に努める ○代かき水は少なめとし、稲株や雑草 を埋没させる ○代かき後は満水とし、雑草の発生を 抑える ○畦際に寄った浮遊残渣は水田から取 り除く				
苗箱運搬	5/中～5/下	稚苗	16箱	軽トラック	○田植当日までに苗をほ場に運搬する		2	1.0	ガソリン 0.1
田 植 え (作業委託)	5/中～5/下	黒色紙マルチ6条用	4.5本	作業委託	○田植え当日までにヒタヒタ水にする ○必要な紙マルチの本数を用意する ○移植作業は最初低速で発進し、紙を 落ち着かせてから中速とする ○紙の継ぎ目で紙のめくれが生じた時 には適宜、ロール芯、土や竹等で紙 を抑える				
水 管 理 (移植以降)	5/中～9/上			軽トラック	○田植直後は急激な入水は避け、ゆる やかに入水して紙を十分湿らせる ○風のない日に半日程度落水して紙を 密着させてから再度緩やかに入水し その後は浅水で管理する ○中干しは生育状況に応じて行う ○中干し後は間断灌水を続け根の健全 化を図る ○完全落水は出穂後35日を目安とす る		1	10.5	ガソリン 5.0
手 除 草	7～9月			軽トラック	○雑草の発生が多いときは適宜手取り 除草を行う		1	3.5	ガソリン 0.1
畦 畔 管 理	7～9月			軽トラック 草刈機	○本田無農薬とするため、畦畔の草刈 に努める (年3～4回程度) ○防除は発生状況を見ながら判断する		1	4.5	ガソリン 0.4 混合油 2.4
穂 肥 散 布	7/下～8/上	新つややか655	50kg	軽トラック 動力散布機	○穂肥は出穂前30日に1回目、出穂 20日前に2回目を施用する ○生育量で量や施肥時期を加減する		1	0.3	ガソリン 0.1 混合油 0.2
取 穫 ・ 運 搬 (作業委託)	9/中～9/下			作業委託	○収穫適期判断は通常栽培と同様とす る (普通栽培とは別仕分けとする)				
乾 燥 調 製 (作業委託)	9/中～9/下			作業委託	○カントリーエレベーター等に委託す る				
稲 わ ら 処 理	10/上～				○堆肥センターや畜産農家で有効利用 (耕畜連携)				
合 計								20.1	

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明
粗収益	主産物価額③	184,680	生産量①： 540 kg 単価②： 342 円/kg
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	副産物価額④	2,403	
	計 (A)	187,083	
生産原価	種 苗 費	12,798	育苗センター
	肥 料 費	10,800	新つややか655
	農 薬 費	0	使用せず
	諸 材 料 費	17,640	黒色紙マルチ
	動力光熱費	1,260	
	農 具 費	661	機械負担価額×4%
	建物等修繕費	0	建物・構築物負担価額×1%
	賃 料 料 金	69,885	主要な機械作業は委託する(堆肥散布、秋・春耕耘、代かき、田植え、コンバイン、運搬、乾燥調製)
	共 済 掛 金	140	
	雇 用 労 賃	0	
	減価償却費⑤	3,676	別表のとおり
	土地改良費	657	経常賦課金、用排水路、暗渠排水
	支払地代⑥	3,667	
	小計 (B)	121,183	
	費	販売費一般	1,614
管理費		2,160	
諸税負担金		930	農協賦課金、車検料、固定資産税
事務研修費		1,883	農業新聞購読料、電話代
支払利息⑦		0	
小計 (C)		6,587	
経 営 費 (D)	127,770	注) (D) = (B) + (C)	
家族労働費見積額 ⑧	29,640	農 従 労 働 時 間： 20.1 生産管理労働時間 2.7 1,300 円/時間	
支払利子・地代算入生産費(E)	155,007	主産物単位当たり 17,223 円/60kg 注) (E) = (D) + ⑧ - ④	
自己資本	3,027	流動資本利子⑨ 注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	315	固定資本利子 利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	1,833		
全算入生産費 (H)	160,182	生産物単位当たり 17,798 円/60kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)	
所 得 (I)	59,313	時間当たり 2,601 円 注) (I) = (A) - (D)	
所 得 率 (J)	32	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100	
農企業利潤 (K)	24,498	注) (K) = ③ - (H)	
家族労働報酬 (L)	54,138	時間当たり 2,374 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)	
農業資本利潤 (M)	29,673	注) (M) = (I) - ⑧	

